

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和7年度第5回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和7年10月8日(水) 14時～16時35分		
開催場所	小金井市野川クリーンセンター 研修室		
出席者	委員	<出席者：13名> 渡辺会長・岡山副会長・溝入委員・岸野委員・光明委員・中村委員・橋爪委員・林委員・平川委員・多田委員・清家委員・長友委員・石原委員・井上委員 <欠席者：2名> 平川委員・保谷委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・立崎減量推進係長・竹内清掃係長・高橋施設係長・川端主任・千野主事	
	計画策定 支援受託者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 米田管理技術者、尾形担当技術者、野末担当、立野担当	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 2 議 題 (1) 小金井市一般廃棄物処理基本計画等について (2) 令和8年度小金井市一般廃棄物処理計画 諮問 (3) その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

渡辺会長	これより令和7年度第5回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。 保谷委員、平川委員が欠席。
立崎減量推進係長	(配付資料確認)
渡辺会長	(第3回の会議録について再確認) 第4回審議会の中で修正なしと確認をしたが、ホームページ公開後、改めて発言内容の修正の申し出があった。文言の修正のみであり、他への影響もないと判断したため、会長の責において修正をさせていただきたいが、ご同意いただけるか。 ————— 会長の責による文言修正について異議はないようなので、事務局にて修正及び公開手続きに入る。 (前回の会議録について確認) 修正案について特に委員からの意見はないようなので、事務局にて公開手続きに入る。
策定支援受託者	(小金井市災害廃棄物処理計画(素案)について説明)
林委員	P37 表3-2 公費解体の文章について、「観念できる」という表現は正しいのか。
策定支援受託者	判断できるということを意図した文章であるが、表現方法については再考させていただく。
林委員	P8 表1-4の緊急仮置場の記載について、平常時にごみを排出している場所としているが、自身の家以外から持ってきた廃棄物も対象となるのか。
策定支援受託者	基本的に自身の家以外の廃棄物は対象外と考えている。 緊急仮置場を設置する理由は、地区集積所に持っていくこと

	が困難なものもあると考えられるためである。
林委員	そのようなことはどこで読みとれるのか。多くのごみを置くスペースがあるような家の場合、自身の家の前以外にも置く人がいるのではないか。
竹内清掃係長	地区集積所と分けて、大きな片付けごみを排出する場所として緊急仮置場という言葉を使っている。想定しているのは自宅前である。
岡山副会長	緊急仮置場という言葉は、前回計画より入れている言葉であり、水害で運ぶことが難しくなったものを出してもらい場所として、地区集積所と別で整理した経緯がある。
林委員	緊急仮置場の場所が不明確のまま計画で定義してしまっは、片付けごみを他人の家の前に出してしまう市民も出てくるのではないか。
岡山副会長	「緊急仮置場は水害時のみの対応」と書いてはどうか。
渡辺会長	地震で大きなものが出てきた際はどこに持って行くのか。
竹内清掃係長	緊急仮置場での対応を想定している災害は、水害だけではない。
林委員	P 2 5 の図の説明をしてほしい。
計画策定支援受託者	図 2 - 7 は、地区集積所を経て一次仮置場へ排出するフロー図である。青い矢印が市民の排出、黒い矢印が市の職員による搬入を表している。図 2 - 8 は、緊急仮置場から直接一次仮置場へ搬入されることを示している。
渡辺会長	図 2 - 8 は、緊急仮置場から一次仮置場へ運ばれることが分かるように修正する必要がある。
計画策定支援受託者	図 2 - 8 のタイトルには「緊急仮置場からの」を追記する。

林委員	P 8 表 1 - 4 に、緊急仮置場の開設に関する記載があるが、個人が対応するのであれば、ここまで詳細に書く必要はないのではないか。
計画策定支接受託者	特に水害後、家の片付けを行う際に、家の前を出してよいと市からの連絡を受けてから出してもらうことになる想定される。そのため、開設という言葉を用いていたが、表現については再考する。 隣人との個別の調整を経て他の人の家の前に出している事例はあるものの、計画書として整理できないため、基本は自宅前とすることが望ましい。
岡山副会長	一昨年の茂原市の事例でも、自宅前で分別しての排出をお願いしていた。 計画書の中でそこまで詳細に記載することができないため、詳細はマニュアルで定めることとなる。
林委員	事前質問に関する 2 つ目の回答において、「自主防災組織からご相談を受けた際」とあるが、自主防災組織側から個別に相談があるとは思えない。 3 つ目のごみゼロ化推進会議等での協議について、ごみゼロ化推進会議は年 1 回程度しか開催していないので、これに特化した会議の開催等を考えた方がよいのでは。
竹内清掃係長	自主防災組織が、地区集積所として想定される場所について日頃検討しているという情報を得たので、追加した文言である。今後、自主防災組織の担当課との調整となるが、自主防災組織側で想定している地区集積所と、行政側で想定している地区集積所の認識に差異が無いよう、連携が必要と考えている。
林委員	自主防災組織については、市役所側からの呼びかけを、是非していただきたい。
中村委員	P 8 ~ 9 で、仮置場が 4 種類に分類されているが、検討の経緯を知らない人を見ると分かりづらい。

岡山副会長	<p>仮置場、集積所の言葉を使い分けるのであれば、それぞれの言葉についての整理が必要なのではないか。</p> <p>緊急仮置場は平時に出す場所なので、名前を付けずにこうい うときに出してください、との説明だけにしてはどうか。</p> <p>また、緊急仮置場について、出された片付けごみの収集にあ たる収集車が回るエリアを想定しておいたほうが良いと思う が、P 1 3 の図 1 - 4 に収集車が回るエリアの周知などがな いのが気になる。市民への周知も併せて検討すべきではない か。</p> <p>P 8 に注釈で書かれているが、東京都が 2 年前に定めた計画 では、「集積所」としてまとめていた。</p> <p>言葉として分かりづらいが、ネーミングはこれで勘弁いただ きたい。</p>
渡辺会長	<p>市民が排出する場所が集積所、自治体が搬入する場所が仮置 場という整理だったのであれば、市民に一番近い排出場所の 名称が緊急仮置場となっていることもわかりづらい要因なの かもしれない。</p> <p>P 2 3 において収集の優先順位は、緊急仮置場の収集が優先 で、生活ごみはその次の収集と整理しているのか。</p>
計画策定支援受託者	<p>通行の妨げにならないように緊急仮置場の収集も早急に実施 する必要があるが、第一に考えるのは避難所ごみや生活ご み、腐敗性ごみやし尿等衛生ごみである。</p>
渡辺会長	<p>サイズが小さいごみは通常の片付けごみと一緒に出すが、排 出を待ってもらうということか。</p>
計画策定支援受託者	<p>小型の片付けごみは収集の優先度が低い。</p>
竹内清掃係長	<p>P 2 1 に腐敗性のある燃やすごみ、衛生ごみを優先で収集 し、収集体制が整い次第、速やかに燃やさないごみなどの収 集を再開すると整理している。</p>
岡山副会長	<p>P 2 5、地区集積所に持ってきてもらうものは、持ち込める</p>

	<p>くらいのサイズ感のごみである。だが、実態としては腐敗性のあるごみ以外のごみも地区集積所に持ち込まれているので、自宅で保管されるということはないと思う。むしろ地区集積所に持ってきてもらった方がいいのでは。</p>
計画策定支接受託者	<p>小金井市は地区集積所となりうる公園等が極めて少なく、面積も限られていることもあり、品目を限定している。計画上認めると多量に持ち込まれる可能性があるため、限定せざるを得ない。</p>
岡山副会長	<p>生活をするうえでガラスなどがあると危ないので、割れ物などの危険物は最初に地区集積所に出してもらう必要がある。布団などの排出は待ってもらう必要があることは理解する。プラ、缶、びんなどの資源ごみは市の収集体制の立て直しまで自宅で保管してもらう事例はよくある。</p>
光明委員	<p>一般市民の感覚として、割れたもの等は、平時から収集いただけるものとして排出しているため、品目が一部限定されること、普段の運用と変わることは違和感がある。ガラスなども地区集積所に出されてしまう前提の計画にすべきではないのか。</p>
岡山副会長	<p>何の品目をどこに出してもらうかは、発災後に市からすぐに広報することになる。</p>
今井ごみ対策課長	<p>あらゆるものが地区集積所に排出されてしまうことは市としても避けたい。資源化可能なものは資源化処理するという流れを考えた際に、現在の整理が最適であると判断している。</p>
岡山副会長	<p>P 2 5 の小型の片付けごみの表現は修正した方がよい。</p>
渡辺会長	<p>収集を優先する品目についてはどこに書いているのか。</p>
岡山副会長	<p>P 5 表 1 - 2 に関して、災害廃棄物の具体的な内容の中で、「一部損壊家屋から排出される家財道具」については「一部損壊」を削除したほうがよい。「被災施設の仮設トイレから</p>

	<p>のし尿」については「被災施設の」を削除したほうがよい。避難所ごみ等の部分に「使用済み携帯簡易トイレ」を追加すべき。</p>
計画策定支接受託者	<p>東京都の災害廃棄物処理計画をもとに作成しているため、追記できるかは市と協議する。</p>
今井ごみ対策課長	<p>浅川清流環境組合、日野市、国分寺市、小金井市で災害廃棄物合同処理マニュアルを作る方針である。浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設に搬入できる品目と整合をとる必要はあるため、修正方針については検討する。</p>
岡山副会長	<p>P 5 表 1 - 2 の災害廃棄物に関しては、家財道具「等」とした方がよい。色々なものが出るので。</p> <p>P 8 地区集積所のところ、注釈等で「携帯簡易トイレは地区集積所には出さず、行政の収集に排出する」旨を追記したほうがよい。</p>
竹内清掃係長	<p>P 8 地区集積所についての「市が指定する品目のみ」の記載の下に入れるのはどうか。</p>
岡山副会長	<p>それでよいと思うが、いろいろなところに書いた方がよい。</p>
石原委員	<p>発災後の広報が非常に重要になると思う。</p> <p>また、発災後、ごみゼロ化推進委員の協力が得られるかは大変疑問である。帰宅困難者になっている可能性もあるし、高齢化も進んでいる。本件は十分に検討いただきたい。</p> <p>また、災害廃棄物だけでなく、一般廃棄物も含め、外国人が増えていることを鑑みて、どのように周知するかを検討する必要がある。</p>
今井ごみ対策課長	<p>関係各課との協力体制の構築、自主防災組織との取り組みも含めて検討が必要という認識である。この点については今後の課題とさせていただきたい。</p>
石原委員	<p>私が所属している自主防災組織は、発災時に備えしっかりと</p>

<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>準備をしている。ごみゼロ化推進員と併せて、自主防災組織との連携を強化していくべきではないか。</p> <p>自治会加入率の問題などもあり、連携がうまくできていない実態もある。</p> <p>外国人への周知に関しても、広報媒体やツールの多言語化に取り組んでいるところであり、引き続き検討を進める。</p>
<p>光明委員</p>	<p>私が所属している自主防災組織は非常に小さい組織で、やっとの思いで設置できた倉庫も防災備品で埋まり、追加の防災備品を購入できない状態である。石原委員がおっしゃったような、対策や準備が万全な自主防災組織ばかりではないことは理解いただきたい。</p>
<p>中村委員</p>	<p>仮置場の名称について、わかりやすい表記にするために今なら変えられると思うがいかがか。変えられない理由があるのか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>国や都の計画、他の自治体と整合していないという状態は避けたい。災害規模によっては広域的な支援をいただくことも想定され、そうした際にも行政間のやり取りの中で混乱するような事態も回避したいという意図がある。</p> <p>市民の方には、地区集積所と緊急仮置場が何かをご理解いただきたいと考えている。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>地区集積所は小金井市だけ使用している言葉ではないのか。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>他自治体でも使用している。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>広報周知が最も重要である。地区集積所や緊急仮置場という単語ではなかなか伝わりにくいと思うが、実際は具体的な場所や品目が周知されることになると思うので、その辺りは行政の役割として認識をしていただければと思う。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>P 3 0 4. 1段落目では、「情報は予定を含めて逐次更新します。また、多言語の情報伝達に努めます。」のような文言を</p>

	追記するのがよい。
中村委員	行政が多言語化の対応をするよりも、翻訳アプリが翻訳をしやすい日本語にしておくといった対応が望ましいと考える。
今井ごみ対策課長	翻訳しやすい日本語を作成するための研修をしている課もあるため、そのような対応をできるよう努めたい。
計画策定支援受託者	ご質問のあった、緊急仮置場、地区集積所の開設場所についての記載は、P 28からP 30にかけて記載をしている。P 28の2.(1)市内の被害状況の把握からP 30の3.は開設に向けての流れである。
中村委員	先ほど発言したのは、P 13 図1-4でいきなり地区集積所からの図で説明されているので、緊急仮置場の位置づけはどのようになっているのか疑問であった。
竹内清掃係長	発災24時間から72時間までの③片付けごみの収集体制の構築として、3.に緊急仮置場が含まれる。
渡辺会長	巻末資料はパブリックコメントの対象か。
今井ごみ対策課長	巻末資料はパブリックコメントの対象外である。
渡辺会長	巻末資料参照の記載は削除したほうが良い。 パブリックコメントにて公表された計画を見て、改めてご意見がある場合は、パブリックコメントにてご意見いただく形で良いか。
今井ごみ対策課長	問題ない。 本日いただいたご意見は、パブリックコメントまでに修正させていただきます。
策定支援受託者	(小金井市一般廃棄物処理基本計画(素案)について説明)

岡山副会長	P 6 1 (4)「ナッジを活用した啓発の検討」については、「ナッジを活用した啓発「方法」の検討」にしたほうがよい。
中村委員	ナッジとは何か。
岡山副会長	ナッジに関する注釈を追記した方がよい。
立崎減量推進係長	注釈にて追記する。
今井ごみ対策課長	ナッジは、人々の自発的な取り組みを後押しする手法を検討したいという趣旨での記載である。
岡山副会長	啓発というより行動変容に近い。知らない間にやっけてしまっている、ということ表現しているものである。
岸野委員	ナッジについては、わかりやすい言葉に変えていただきたい。
今井ごみ対策課長	是非取り入れたいと思い、記載している。注釈を入れて説明する文章を追記する。
林委員	P 6 0、家庭系生ごみ資源化（堆肥化）事業への移行を推進していくため、生ごみ処理機器購入費補助制度の見直しの検討を挙げていると思うが、「継続に向けて必要な」を削除で良いのではないか。
今井ごみ対策課長	生ごみの資源化事業への移行を推進していきたいと考えているため、現行制度の継続に向けて見直しが必要と考えている。記載方針については検討する。
橋爪委員	前期計画と後期計画では何が違うのか。これまでの経緯などを記載すべきではないか。
立崎減量推進係長	P 5 2にこれまでの経緯をまとめている。
今井ごみ対策課長	P 5 2において、これまでの本市のごみ処理行政の歴史的など

	<p>ころは網羅して整理している。計画書前半ではごみ処理実績など含めた現状を整理している。そこから課題を抽出し、課題に向けた施策の展開という流れとしている。おっしゃった内容は包含している認識である。</p>
溝入委員	<p>P 6、図 1-4 について、ことさらに外国人の増加にフォーカスしている理由は何なのか。</p>
渡辺会長	<p>P 6 で外国人への対応を記載する必要があるということか。</p>
溝入委員	<p>P 6 で記載する必要はないが、外国人割合が増えてきていることについて何かしらの記載が必要でないかという指摘である。</p>
今井ごみ対策課長	<p>外国人の人口は増加しており、特定の国籍の方のコミュニティもできているような状況である。市は外国人が出したごみも処理する義務があるため、人口動態に併せて施策なども整理する必要があると考えており、現在の整理としている。</p>
事務局	<p>P 5 0 に外国人増加について言及している。</p>
林委員	<p>他自治体では、外国人が増加したことによるごみの排出状況の悪化等もあるようで、市としてはそのあたりに対応したいというメッセージだと理解している。</p>
岡山副会長	<p>P 6、図 1-4 のグラフは不要では。P 5 0、図 1-6 2 のグラフはあってもいい。</p>
今井ごみ対策課長	<p>現在作成中の上位計画である基本構想と整合を図る必要があるため、構成については検討させていただく。</p>
岡山副会長	<p>P 6、外国人に限らず、全市民が出すごみを処理するという市のメッセージとする必要があるため、表のみで良いかと思う。</p>
石原委員	<p>グラフとして、人口増加の内訳のほとんどが外国人であることは整理してもいいのでは。外国人に限らず、都内からの転入者に関しても、ごみの排出状況が良くないケースもあると思う。</p>

今井ごみ対策課長	パブリックコメントにあたっては、P 5 0のグラフは掲載したままとし、P 6の人口グラフ及び表は掲載しないほうが良いという指摘として整理させていただく。
光明委員	P 5 0の人口グラフの単位がない。
中村委員	P 6 6の第4章3節について。入ってくるごみに関する施策を記載した2節に対して、それをどう処理するかの施策を記載した3節が手薄な気がしている。入ってくるほうは市としてコントロールが難しいところだが、処理する体制や方法については直接手を付けやすいところであるため、より重要なのではないかと考えている。人件費高騰に向けた対策検討、徹底したコスト管理など書いているが、どこに集中するか、現時点では答えはないのかもしれないが、本気で取り組む感じが見えなかった。また、P D C Aについて、どういう指標に対してどのように評価するのか等、実効性が増すようなP D C Aが必要では。いつまでに、どの段階まで、どのようなタイムスケジュールで実施するのが、2節、3節であまりないように感じる。
石原委員	P D C Aについては前回も林委員が答えていた。 P 6 0、コンタクトの空ケースについてはわざわざ記載するほどの量が集まっているのか。
立崎減量推進係長	日野市及び国分寺市と共同で、事業者と協定を結び実施している。具体的な重量について、本日、資料を持ち合わせていないが、確実に回収ができています。
中村委員	コンタクトの空ケースを普通のプラとして回収するよりもメリットがあるのか。
渡辺会長	拡大生産者責任として取り組んでいる。
林委員	事業者が実施している取り組みの一つであり、事業者が回収量は把握していると思う。回収品目の1つとして事例を並べた整理だと思う。

林委員	<p>市が場所を提供しているもの。廃食油はそこまでできていない。</p> <p>なお、先ほどのP D C Aについては、毎年度の処理計画の中で整理すべき内容である。</p>
岡山副会長	<p>基本計画なのでP D C Aは記載すべき。</p> <p>前回計画、毎年度の処理計画実施状況を踏まえて、P D C A含め新計画をどう定めるかを検討する位置づけが審議会であると思う。</p> <p>前回計画策定時は検討していたが、審議に膨大な時間と労力がかかった経緯もあるため、処理計画にて検討すべきではないか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>毎年度の処理計画にて評価を行っており、基本計画では法改正、社会情勢の変化などの状況に応じて更新を行うとしている。</p> <p>いただいた意見を反映しパブリックコメントを行う。人口動態のところは、P 6の図1-4と表1-1は削除、P 50の図1-6 2はそのままとする。</p>
策定支援受託者	<p>(小金井市食品ロス削減推進計画(素案)について説明)</p>
清家委員	<p>P 16のフードドライブに実施に関連して、市報10月1日号にて東小金井駅においてフードドライブを実施するという記事を拝見した。どのような内容か説明いただきたい。</p>
立崎減量推進係長	<p>10月25日(土)、26日(日)の午前10時から午後4時に実施する予定である。株式会社J R中央線コミュニティデザイン及び小金井市社会福祉協議会と3者連携で実施する。食品ロス削減月間である10月に実施することで調整した。</p> <p>フードドライブの他、くるカメ着ぐるみを活用したP R、ごみ分別クイズやスタンプラリーなどを実施する。</p>
中村委員	<p>告知についてはどのように行っているのか。働いている人は特</p>

立崎減量推進係長	に、市報などに目を通す機会が少ない。
中村委員	市報10月1日号に加えて、ホームページにも掲載する予定である。
今井ごみ対策課長	駅にのぼりなど立ててはどうか。
事務局	ポスターやチラシも作成し、周辺の商店会等にも配布されると伺っている。駅利用者にもわかりやすい情報提供はされる予定である。なお、共催は今回が初めてであるが、JR東小金井駅では昨年度も同時期にフードドライブイベントを行っている実績があるため、ある程度知られているのではないかと。
今井ごみ対策課長	パブリックコメントの実施については、3計画の素案だけでなく概要版も同時にパブリックコメントをかける予定である。
今井ごみ対策課長	パブリックコメントは11月4日（火）から開始する。パブリックコメント前に、3計画の概要版を委員に送付する。
林委員	（令和8年度 小金井市一般廃棄物処理計画 諮問及び概要説明）
事務局	データを編集可能な形で送付していただきたい。
岡山副会長	了解した。
今井ごみ対策課長	P17、生ごみ乾燥物の下には、現在モデル事業を実施している生ごみ回収について、何らか記載が必要と考える。
竹内清掃係長	検討する。
	ごみリサイクルカレンダーの表紙について、表紙絵と裏表紙絵の選定を例年と同様に審議会委員の皆さんにお願いしたい。投票はインターネットにて行う予定であり、事務局から投票のリンクをお送りする。結果は次回審議会にて報告する。

立崎減量推進係長	次回の審議会は令和8年2月5日（木）14時から、次々回は令和8年3月4日（水）14時からそれぞれ野川クリーンセンターで予定をしている。詳細は改めて連絡する。
----------	--